



日本共産党 荒川区議会議員

Japanese Communist Party

横山幸次 区政通信

E-mail:kouji.office@gmail.com

853 2023年1月29日
日本共産党荒川区議会議員団
区役所控室 3802-4627
横山事務所
荒川区町屋5-3-5
&fax 3895-0504

定例法律相談
2月6日(月)
18時~20時
横山区議事務所
お気軽にご相談を

荒川区議会

2月15日から区議会2月会議が開催
思い切った暮らし最優先の予算編成を

子育て支援
真刻に自治体から少子化対策を打ち出すとき
教育、保育など子育ての負担ゼロをめざして

少子化が多くのメディアでも取り上げられ、政治のあり方が問われています。子どもを生み育てることのできない最大の要因の一つは、各種調査でも「家計苦」つまり経済的理由が7割を占めています。働き方改革や賃上げなどとともに、教育・保育などの完全無償化や環境整備に思い切った対策を講じることが急がれます。こうした中、小池都知事は、来年度

来年度、都の子育て支援策

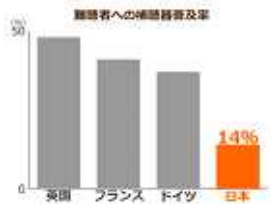
子ども一人月5千円支給
都内の18歳以下(約200万人)に、1人当たり月5千円を給付。(所得制限無し)
2023年度は、1年分の6万円(12か月分)を2024年1月に一括支給の予定。

保育園0~2歳児
第2子の保育料を無料に

2023年度10月から、0~2歳の第2子の保育料を所得制限なしで無料にします。

(0~2歳の第1子は引き続き保育料負担が必要)

Table with 3 columns: 都内保育園0~2歳児の保育料, 0~2歳, 3~5歳. Rows: 第1子, 第2子, 第3子以上.



福祉
区の補聴器助成額引き上げが必要

今年に入って、お訪ねした少なくないお宅で「難聴になつて補聴器を考えたが、10万円以上するので...」「経済的な負担が...」など躊躇する声を聞く機会がありました。荒川区の購入補助制度(左表)は、65歳以上・非課税、上限が2万5千円:

荒川区補聴器助成の利用状況 (昨年6月から実施)
決定 91 実行 57
相談は、約300件

区補聴器助成制度 (対象)
荒川区内に住所を有する満65歳以上住民税が非課税の方
耳鼻咽喉科の医師が補聴器の必要性を認めた方
原則、両耳の聴力レベルが40dB以上70dB未満の方
【助成内容】
助成金の上限額は2万5,000円
医療機器である補聴器の本体及び付属品が対象(片耳のみ)
助成は1人当たり1台限りとし、医療機関の受診費や修理、電池交換は自己負担(問合せ 福祉部高齢者福祉課)

京成バスが「さくら」運賃値上げ...
町屋さくら復活と合わせ公費投入を

京成バスは、3月31日から、南千住方面の「さくら」と「汐入さくら」の運賃値上げを計画。大人料金は20円値上げで160円から180円に、小人料金は10円値上げで80円から90円、IC料金も値上げを予定。定期は、通勤を2100円増の8100円に、通学は1080円増の6480円。シルバーバスと障害者手帳の利用は継続します。京成バスは値上げについて、バス事業は約18億円の赤字。高速バスなどの黒字路線を含め、バス事業全体で経営を維持してきたが、路線毎の採算性の向上が求められている」としています。状況によっては、再度の値上げもあるとしています。この2路線も赤字です。区による赤字補てんの検討も真剣に行いこの2路線の存続と町屋さくらの復活など区民の足を守ることを求めます。



Table with 4 columns: 項目, 現状, 改定案, 値上げ額. Rows: 運賃大人, 運賃小児, 定期券通勤, 定期券通学, 乗継券大人, 乗継券小児, 1日乗車券大人, 1日乗車券小児.

下水道局が藍染川幹線補修工事中です
普段見られない藍染川の様子も見える化?

京成線と並行して走る藍染川側通り。昨年暮れから工事が行われています。藍染川は、暗渠になって「下水道」(藍染川幹線)として使われています。しかし老朽化したため、長寿命化の補修工事をしていきます。3/14まで予定。今回、工事の見える化として



Blue染川幹線補修工事をおこなっています。
Includes images of the construction site and a QR code for more information.



区政世論調査で見えてくるもの… 区事業への要望は防災、地域防犯、 高齢者福祉 など

今後、区に力を入れてほしいと思う事業

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位
2022年	地震などの防災対策	地域防犯の取り組み	高齢者福祉の充実	子どもの安全対策	騒音・ボイ捨て対策など良好な環境	公園整備充実・緑化	幼児・児童の子育て支援
2021年	地震などの防災対策	地域防犯の取り組み	子どもの安全対策	高齢者福祉の充実	幼児・児童の子育て支援	感染症対策の充実	騒音・ボイ捨て対策など良好な環境
2020年	地震などの防災対策	地域防犯の取り組み	感染症対策の充実	子どもの安全対策	高齢者福祉の充実	騒音・ボイ捨て対策など良好な環境	幼児・児童の子育て支援
2019年	高齢者福祉の充実	地震などの防災対策	幼児・児童の子育て支援	子どもの安全対策	地域防犯の取り組み	学校教育の充実	健康づくりなど保健衛生の充実

第47回区政世論調査の自由記載から 《自由記載…町屋在住者関連の一部をご紹介します》

この中で、町屋さくらに関わる意見も多く出ています。区は、こうした声にキチンと向き合うべきです。

町屋さくらコミュニティバスの復活を。他の区のように、荒川区も赤字分を負担して。



(町屋70代)

コミュニティバス(町屋さくら)の復活を願います。

(町屋50代) …同様意見有

町屋さくらを廃止した経緯を知りたい。(町屋60代)

バスの存続など既存の行政サービスの継続を冷静にご検討いただきたい。(町屋/30代)

介護施設・特別養護老人ホームを増やして。利用しやすい金額設定を(低所得者に対して)(町屋70代)

高齢者が多い区なので認知症予防に、人との交流が増やせる場、イベント充実で元気高齢者を。(町屋30代)

荒川区は地震がきたら大変と言われているので、災害対策は万全にお願いしたいです。(町屋/30代)

今週のデータ 牛乳生産抑制の一方で 大量の乳製品輸入する異常

1月21日のNHKクロージングで、アップ現代が衝撃的でした。生産抑制のため国は乳牛1頭減らせば15万円交付。北海道の生産者団体が、来年度14万トンの生産を減らす一方で、国は、生乳換算約14万の脱脂粉乳、バターを輸入。「子どもの成長に不可欠な牛乳を供給する産業が丸ごと赤字」というのは社会的にも許容できない危機。「お金を出せば輸入できるのが当たり前でなくなつた今、国内酪農・農業こそが希望の光、安全保障の要、1人1人の行動が未来を創る」鈴

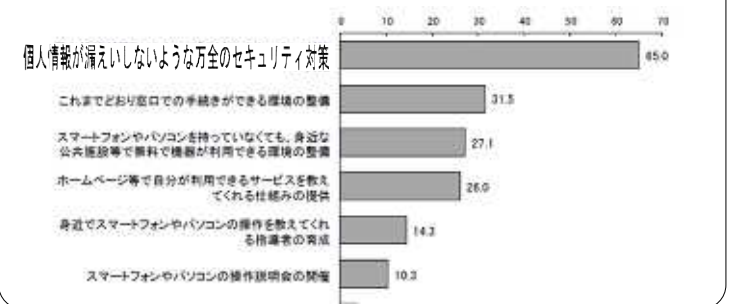
木宣弘教授(東京大学大学院農学生命科学研究科)のメッセージ。
食料自給率を引き上げることにこそ安全保障そのものです。

昨年9月に行われた「第47回区政世論調査」の結果報告がありました。「区政世論調査」は毎年、年代や居住地など住民基本台帳をもとに、区内の満18歳以上3000人へ質問表を郵送。回答は郵送、インターネット、持参で受け付け、今年は1363件(45.6%)の回答がありました。

区政への要望の第一は 防災対策

この3年間は、第一が災害対策、二番目が地域防犯と同じです。コロナ禍や特殊詐欺の横行も影響しているのでしょう。どちらも、安全、安心して暮らしたいと願う区民の気持ちの表れだと思えます。そのためには、区政の「一丁目一番地」の課題である木造密集地域の改善など防災・福祉のまちづくりをはじめとした対策の本格的な推進が求められます。また、高齢者福祉については、順位が上がっています。高齢者福祉の遅れの反映でしょうか。人間らしく暮らすための介護、福祉サービスの充実が急がれます。また、自由記載には様々な意見が寄せられています。ぜひ区民意識に寄り添った予算編成や区政運営を行ってほしいものです。

行政サービスのデジタル化について「個人情報漏えい…万全なセキュリティ対策」が65%、「これまでどおり窓口での手続きができる環境の整備」31.5%となっています。



コロナ禍で带状疱疹が増えています 荒川区でも带状疱疹ワクチン接種助成を

コロナ禍で带状疱疹が増えていると言われています。水疱瘡が治った後もウイルスは神経節に残っていて加齢やストレスで活性化して带状疱疹になるそうです。

現在23区では港区・中野区・文京区で带状疱疹ワクチン助成を行っています。

	65才以上対象数	助成数	接種率
2019年度	43,121	241	0.6%
2020年度	43,372	186	0.4%
2021年度	43,090	572	1.3%

2022年度は夏には昨年実績を上回っている。また、4月からの不活化ワクチン助成を待つ方もいるので3月までの助成数と接種率は？

お隣文京区に聞きますと、2019年10月から都内で初めて費用の一部を助成(自己負担は4,000円)しています。また今年4月からは区の重点施策事業の一つとして対象年齢を

	弱毒性生ワクチン	不活性化ワクチン
接種承認	2016年から	2020年から
接種方法	皮下注射1回	筋肉注射2回
予防効果	50%~60%	90%以上
費用	5年程度	9年以上
	8,000円前後	1回当たり2万円以上

不活性化ワクチンは生ワクチンに比べ痛みや腫れが多く疲労・筋肉痛・頭痛など副反応あり

65歳以上から50歳以上に拡大し、不活化ワクチンも半額程度の助成をすることになりました。予算的には2000万円程で出来るようです。ぜひ荒川区でも実現を求めたいと思います。